

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

**初**

## 大島第2幹線の進捗です（シールドマシンが出来上がりました！）【ひたちなか市】

【位置図】

**工事名** 大島第2幹線管きよ布設工事  
**期間** 令和6年6月上旬～令和8年2月下旬（予定）  
※期間（予定）の変更がある場合があります。  
**時間** 24時間（2交替制）  
**受注者** 大豊・常総・河又特定建設工事共同企業体  
TEL 029-212-6505

ひたちなか市初の工法「シールド工法」を今回の大島第2幹線管きよ布設工事に採用します。中心市街地や住宅街など市民の皆様に影響のある箇所の工事であり、管き



ひたちなか市初のシールドマシン

**合格**



ひたちなか市役所

←管理者の下水道課による確認状況

よ径が大口径（φ3250）であるために、ひたちなか市初の工法となる「シールド工法」を採用して工事を行います。推進工法は、最後尾から推進管を押しながら進めますが、「シールド工法」は、シールドマシンで掘進しながら管を組立ながら設置していきます。違いは、最初に管きよ設置するか後から設置するかの管の設置位置に関係します。また、一般的に布設管きよの大きさ、布設距離などを精査し、「推進工法かシールド工法」の決定を行います。シールドマシン製作が完成し、現場に運搬する前に諸元、動作確認等の内容で工事検査室の工場検査を受検します。この工場検査に合格すると、晴れて現場にシールドマシンの運搬、搬入が可能となります。今回のシールドマシンの工場検査の結果について、無事に「合格」をいただきました。今後は、現場に分割で運搬し、現場で組立を行い、立坑へ設置します。シールド工に入るまでは、通常の工事時間（8:30～17:00）で施工します。本格的なシールドマシンの稼働時期からは、24時間（2交替制）の工事となり長期間の施工となります。現時点の工期は、令和7年度末まで予定しています。周辺の市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、市民の皆様のご理解とご協力により、1日も早い完成を目指し、治水対策を進めてまいります。工事期間中は、ご迷惑をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いします。



▲上記左から、工場検査の説明、シールドマシンの検査状況、シールドマシンの検測、オペレーター装置の説明です。



φ3780mm 泥土圧式シールド掘進機  
工事名：大島第2幹線管きよ布設工事（R5国補公下第3号）  
発注者：ひたちなか市  
施工者：大豊・常総・河又 特定建設工事共同企業体  
製作者：国土開発工業株式会社



# 高場雨水4号幹線管きょ布設工事が完成しました。【ひたちなか市】



## 【位置図】



## 【高場地区】

○雨水幹線  
高場雨水4号幹線管きょ布設工事  
(工期：令和6年7月11日～令和7年2月28日)  
令和7年3月7日(金)に、工事検査室の完了検査を受検しました。先月号で、掲載した工事箇所です。無事、工事が完成し工事検査室から合格をいただきました。都市計画道路(東中根高場線)上の工事のため、交通量も多く、工事期間中は大変ご迷惑をお掛けしました。今後も安全に十分配慮し、計画的に工事を進めてまいります。引き続き、市民の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

▼下記の写真は、竣工検査状況です。左から順に、検査説明→計測→書類検査→講評を受検し合格しました！



## ひたちなか治水だより NEWS !

ひたちなか治水だよりでご紹介しています「松熊優依さん」が、令和7年3月10日、11日の土木学会関東支部の「第52回関東支部技術研究発表会」で発表しました。今回の発表内容を先日、大谷市長へ説明するために来庁しました。ひたちなか市のハザードマップも題材にしている防災提言の研究発表を初の土木学会で発表します。今回の内容について、教官の齋藤教授の指導により、更にフラッシュアップしました！

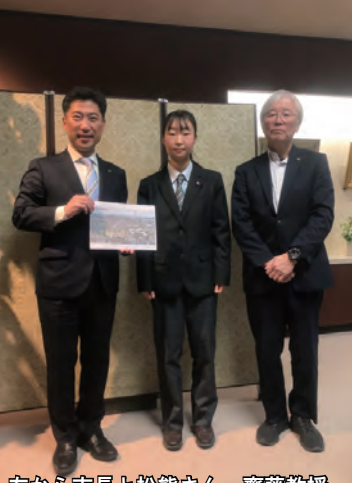


番号	題目	発表者	発表者所属機関	連名者1	連名者2	連名者3
IV-42	小学生が主体となる自治体への防災提言	松熊 優依	茨城県立日立第一高等学校附属中学校	齋藤 修	小林 暁	
IV-43	遠隔地対策種別の進捗状況が地域住民の避難に及ぼす影響—埼玉県内の市町村を対象とする小規模道路網を対象として—	上杉 穂子	日本大学	柿村 成貴		
IV-44	短時間豪雨災害による都心鉄道路線運行への影響評価	藤原 蓮平	中央大学	佐藤 尚文		
IV-45	多段階洪水ハザードマップの有用性の検証	松熊 悠平	中央大学大学院	佐藤 尚文		
IV-46	能登半島における2024年地震および9月豪雨災害に対する中分解能衛星画像の検証調査の検討	中塚 匠吾	日本大学	羽黒 秀樹	藤田 雅史	
IV-47	令和6年能登半島地震災害派遣におけるフラッシュ型支援シミュレーション	榎塚 雅彦	防衛大学校	小嶋 聖	藤田 昌弘	川口 貴博
IV-48	山梨県東南地域における災害時の交通支那の影響評価	高橋 祐人	山梨大学	武藤 慎一	新 夏菜	
IV-0						

5. 自治体への提言  
パネルディスカッションの結末を茨城大学の自衛隊先任に報告—市役所への提言を勧められた。  
2024年4月ひたちなか市長に報告  
(1)「こどももどなたも」開設できる避難所での避難所開設の初期連絡を実施  
(2)児童生徒主導の避難所開設訓練の実施

6. 現状の研究結果  
図1: 高場地区の地形図と降雨シミュレーション結果の比較。図2: 高場地区の3次元地形図。

7. 今後の研究について  
効率的なハザードマップの作成と防災計画への活用  
ドローン測量および衛星画像による効率的かつ高精度なハザードマップの作成・3D化  
各階層での内水氾濫のシミュレーション・シミュレーション結果を行政協力のもと防災計画への活用



左から市長と松熊さん、齋藤教授



市長に説明する松熊さん



市長に説明する齋藤教授



松熊さんの発表



松熊さんの発表

30th Anniversary  
ひとが咲くまち。ひたちなか

ひたちなか市建設部河川課  
那珂川緊急治水対策推進室  
〒312-8501  
ひたちなか市東石川2丁目10番1号  
TEL 029-273-0111 (内線 6418)

「ひたちなか治水だより」は不定期更新でひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも治水に関する情報を公開しています。  
アクセスはこちら→

